

第 28 回 関西言語学会 ワークショップ
 「統語的観点から見たスコープ解釈の諸問題」
 2003.10.18. 神戸市外国語大学

Scope Rigidity and the Argument/Adjunct Asymmetry

高井岩生 (九州大学大学院)
 takai@lit.kyushu-u.ac.jp

1. Introduction

- QP のスコープは、QR 後の LF における c 統御領域である。

- (1) a. [NP_iが [NP_jを [t_i t_j]]]
 b. *[NP_jを [NP_iが [t_i t_j]]]

- (2) at LF
 *QP_i QP_j t_j t_i
 where each member c-commands the member to its right (Hoji 1985:248 (76))

2. Quantifier Dependency

- (2)をそのまま文法のメカニズムとして認めることができるのか？

- (3) Quantifier Dependency (QD)¹ [to be revised later]
 QP が と merge する場合、 に QP が含まれているならば、連繋 QD (,)を形成しなければならない。

- (4) QD (,)の認可条件
 LFにおいて、 が を c 統御してはならない。

- (5) Merge 時: . [[QP] [... [QP] ... V]]
 QD (,)が形成される
 QR 後 (1): [[[t t V]]]
 QD (,)の認可条件が満たされている。
 QR 後 (2): *[[[t t V]]]
 QD (,)の認可条件が満たされていないため、非文となる。

3. adjunct NP のスコープ解釈

3.1. adjunct NP と scope rigidity

- (6) [NP が ...adjunct... V]
 a. [7%の企業が][3つ以上の地域において] 開発計画を進めている。
 b. [7%の大学が][3つ以上の原発事故について] 文部科学省に 説明を 求めた。
 c. [7%の市民団体が][3つ以上の収賄事件に関して] 政府に 情報公開を 迫った。
 • NP が > adjunct の解釈も、adjunct > NP が の解釈も、どちらも可能である。

¹ 田中 2003; 49 (126)に基づく。

- (7) [adjunct...NP が...V]
- [3つ以上の地域において][7%の企業が] 開発計画を 進めている。
 - [3つ以上の原発事故について][7%の大学が] 文部科学省に 説明を 求めた。
 - [3つ以上の収賄事件に関して][7%の市民団体が] 政府に 情報公開を 迫った。
- adjunct > NP が の解釈も、NP が > adjunct の解釈も、どちらも可能である。
- (8) [...NP に / を...adjunct...V]
- あのNGOが [3種類以上の作物を][7%の地域において] 育てようとしている。
 - 文部科学省が [7%の大学に][3つ以上の原発事故について] 調査を 頼んだ。
 - 市民団体が [7%の特別法人に][3つ以上の収賄事件に関して] 情報公開を 迫った。
- NP に / を > adjunct の解釈も、adjunct > NP に / を の解釈も、どちらも可能である。
- (9) [...adjunct...NP に / を...V]
- あのNGOが [7%の地域において][3種類以上の作物を] 育てようとしている。
 - 文部科学省が [3つ以上の原発事故について][7%の大学に] 調査を 頼んだ。
 - 市民団体が [3つ以上の収賄事件に関して][7%の特別法人に] 情報公開を 迫った。
- adjunct > NP に / を の解釈も、NP に / を > adjunct の解釈も、どちらも可能である。

3.2. スコープ解釈と再構築効果

- (10) OS 構文：
NP_jを NP_iが ... V
- (11) OS 構文(10)において、「NP_iが > NP_jを」という解釈がえられる場合の LF：
[NP_iが NP_jを [t_i t_j V]]
- adjunct NP の場合も、OS 構文と同様に分析されるのか？

OS 構文のもう1つの特徴：再構築現象

- (12) a. そこを敵対視している会社を 3つ以上の銀行が 訴えた。
b. ジョンが そこを敵対視している会社を 3つ以上の銀行に (誤って) 推薦してしまった。

adjunct NP の場合：

- (13) a. *そこを敵対視している企業が 3つ以上の国において 開発計画を 進めている。
b. *そこを敵対視している大学が 3つ以上の法人について ずさんな運営をしていることを 暴露した。
c. *そこを敵対視している市民団体が 3つ以上の企業に関して 悪質な税金逃れをしていることを 暴露した。
- (14) a. *そこを敵対視している国において 3つ以上の企業が 開発計画を 進めている。
b. *そこを敵対視している大学について 3つ以上の企業が ずさんな運営をしていることを 暴露した。
c. *そこを敵対視している法人に関して 3つ以上の市民団体が 悪質な税金逃れをしていることを 暴露した。

- (15) a. *ジョンが そこを敵対視している国において 3つ以上の企業を 宣伝してしま
った。
b. *ジョンが そこを敵対視している国について 3つ以上の日本企業に 政権が交
代することを 暴露した。
c. *ジョンが そこを敵対視している企業に関して 7%の銀行に 経営陣が 退陣す
ることを 暴露した。
- (16) a. *ジョンが そこを敵対視している企業を 3つ以上の国において 宣伝してしま
った。
b. *ジョンが そこを敵対視している企業に 3つ以上の国について 政権が交代す
ることを 暴露した。
c. *ジョンが そこを敵対視している銀行に 3つ以上の企業に関して 経営陣が 退
陣することを 暴露した。

- adjunct NP の場合には、scope ambiguity が見られるにもかかわらず、再構築現象が見られない。

- (17) a. [NP_iが / に / を [adjunct_j [t_j t_i V]]]
b. [adjunct_j [NP_iが / に / を [t_i t_j V]]]

- adjunct NP の場合には、QD が形成されないと考える必要がある。

3.3. MINOR によるスコープ解釈でないことの確認

- adjunct NP が関わる場合のスコープ解釈が MINOR によるものだとした場合に見られるはずの現象があらわれないことを確認する。

3.3.1 QP タイプによる違いが観察されない

- 以下のどの例でも、スコープ解釈が多義的である。

[NP が adjunct V]
(18) ^{FD}QP

- a. [7%の企業が][3つ以上の地域において] 開発計画を 進めている。
b. [7%の大学が][3つ以上の原発事故について] 文部科学省に 説明を 求めた。
c. [7%の市民団体が][3つ以上の収賄事件に関して] 政府に 情報公開を 迫った。

(19) ^{existential}QP

- a. [7%の企業が][3つの地域において] 開発計画を 進めている。
b. [7%の大学が][3つの原発事故について] 文部科学省に 説明を 求めた。
c. [7%の市民団体が][3つの収賄事件に関して] 政府に 情報公開を 迫った。

[adjunct NP が V]
(20) ^{FD}QP

- a. [3つ以上の地域において][7%の企業が] 開発計画を 進めている。
b. [3つ以上の原発事故について][7%の大学が] 文部科学省に 説明を 求めた。
c. [3つ以上の収賄事件に関して][7%の市民団体が] 政府に情報公開を迫った。

(21) ^{existential}QP

- a. [3つ以上の地域において][7つの企業が] 開発計画を 進めている。
b. [3つ以上の原発事故について][7つの大学が] 文部科学省に 説明を 求めた。
c. [3つ以上の収賄事件に関して][7つの市民団体が] 政府に 情報公開を迫った。

[...NP に / を...adjunct...V]

(22) ^{FD}QP

- a. あの NGO が [3 種類以上の作物を] [7 %の地域において] 育てようとしている。
- b. 文部科学省が [7 %の大学に] [3 つ以上の原発事故について] 調査を 頼んだ。
- c. 市民団体が [7 %の特別法人に] [3 つ以上の収賄事件に関して] 情報公開を 迫った。

(23) ^{existential}QP

- a. あの NGO が [3 種類以上の作物を] [7 つの地域において] 育てようとしている。
- b. 文部科学省が [7 %の大学に] [3 つの原発事故について] 調査を 頼んだ。
- c. 市民団体が [7 %の特別法人に] [3 つの収賄事件に関して] 情報公開を 迫った。

[...adjunct...NP に / を...V]

(24) ^{FD}QP

- a. あの NGO が [7 %の地域において] [3 種類以上の作物を] 育てようとしている。
- b. 文部科学省が [3 つ以上の原発事故について] [7 %の大学に] 調査を 頼んだ。
- c. 市民団体が [3 つ以上の収賄事件に関して] [7 %の特別法人に] 情報公開を 迫った。

(25) ^{existential}QP

- a. あの NGO が [7 %の地域において] [3 種類の作物を] 育てようとしている。
- b. 文部科学省が [3 つ以上の原発事故について] [7 つの大学に] 調査を 頼んだ。
- c. 市民団体が [3 つ以上の収賄事件に関して] [7 つの特別法人に] 情報公開を 迫った。

3.3.2 スコープに関する freezing effect が観察されない

- 以下のどの例においても、3 つの QP 間にスコープの相互作用が見られる。

[NP が adjunct V]

- (26) a. [7 %の企業が] [3 つの地域において] [トヨタにさえ] 資金を 提供した。
 b. [7 %の大学が] [3 つの原発事故について] [東京電力にさえ] 情報公開を 迫った。
 c. [7 %の市民団体が] [3 つの収賄事件に関して] [トヨタにさえ] 情報公開を 迫った。

NP が > adjunct & adjunct > NP に

adjunct > NP が & NP が > NP に

[adjunct NP が V]

- (27) a. [3 つ以上の地域において] [7 つの企業が] [トヨタにさえ] 資金を 提供した。
 b. [3 つ以上の原発事故について] [7 つの大学が] [東京電力にさえに] 情報公開を 迫った。
 c. [3 つ以上の収賄事件に関して] [7 つの市民団体が] [トヨタにさえ] 情報公開を 迫った。

adjunct > NP が & NP が > NP に

NP が > adjunct & adjunct > NP に

[...NP に / を...adjunct...V]

- (28) a. [3 %の企業が] [イチゴさえを] [7 つの地域において] 育てようとしている。
 b. [7 %の市民団体が] [九州大学にさえ] [3 つの送電事故について] 調査を 頼んだ。
 c. [朝日新聞さえが] [7 %の特別法人に] [3 つの収賄事件に関して] 情報公開を 迫った。

NP が > NP に / を & NP に / を > adjunct

NP が > adjunct & adjunct > NP に / を

[...adjunct...NP に / を...V]

- (29) a. [2%の企業が] [7つ以上の地域において] [3種類の作物を] 育てようとしている。
 b. [7%の市民団体が] [3つ以上の爆発事故について] [2つの大学に] 調査を 求めた。
 c. [7%の市民団体が] [3つの収賄事件に関して] [2つの企業に] 情報公開を 迫った。

NP が > adjunct & adjunct > NP に / を NP に / を > adjunct & NP が > NP に / を

3.3.3 束縛変項解釈に関する freezing effect が観察されない

- 以下のどの例においても、スコープ解釈と下線部の束縛変項解釈が両立しうる。

[NP が adjunct V]

- (30) a. [7%の企業が] [3つの地域において] そこを敵対視している市民団体を 訴えた。
 b. [7%の大学が] [3つの原発事故について] そこを敵対視している電力会社に 情報公開を 迫った。
 c. [7%の市民団体が] [3つの収賄事件に関して] そこを敵対視している企業に 情報公開を 迫った。

[adjunct NP が V]

- (31) a. [3つ以上の地域において] [7つの企業が] そこを敵対視している市民団体を 訴えた。
 b. [3つ以上の原発事故について] [7つの大学が] そこを敵対視している電力会社に 情報公開を 迫った。
 c. [3つ以上の収賄事件に関して] [7つの市民団体が] そこを敵対視している企業に 情報公開を 迫った。

[...NP に / を...adjunct...V]

- (32) a. [3つ以上の銀行が] そこを敵対視している会社を [7つの地域において] 宣伝した。
 b. [7%の市民団体が] そこを敵対視している大学に [去年と今年を送電事故について] 調査を 頼んだ。
 c. [7%の市民団体が] そこを敵対視している特別法人に [トヨタと日産の収賄事件に関して] 情報公開を 迫った。

[...adjunct...NP に / を...V]

- (33) a. [3つ以上の銀行が] [7つの地域において] そこを敵対視している会社を 宣伝した。
 b. [7%の市民団体が] [2つの送電事故について] そこを敵対視している大学に 調査を 求めた。
 c. [朝日新聞さえが] [3つの収賄事件に関して] そこを敵対視している特別法人に 情報公開を 迫った。

4. Quantifier Dependency 改定案

- (34) argument に伴う格助詞は case-marker である。
adjunct に伴う格助詞等は後置詞である。
- (35) Quantifier Dependency (QD) [revised]
case marker をもつ QP が と merge する場合、 に case marker をもつ QP
が含まれているならば、連繋 QD (,) を形成しなければならない。
- (36) QD (,) の認可条件 (= (4))
LF において、 が を c 統御してはならない。

References

- Beghelli, Filippo, and Timothy Stowell (1997) "The Syntax of Distributivity and Negation," in Anna Szabolcsi ed., *Ways of Scope Taking*, Kluwer Academic Publishers, Dordrecht, 71-108.
- Hayashishita, J.-R. (1999) "Two Ways of Deriving Distributive Readings," In *Proceedings of the 23rd Annual Penn Linguistics Colloquium*, 201-216. (*University of Pennsylvania Working Papers in Linguistics* Volume 6.1.)
- Hayashishita, J.-R. (2000) "Scope Ambiguity and 'Scrambling'," *WCCFL* 19, 204-217.
- Hoji, Hajime (1985) *Logical Form Constraints and Configurational Structures in Japanese*, Doctoral dissertation, University of Washington.
- Kuroda, S.-Y. (1970) "Remarks on the Notion of Subject with Reference to Words like *Also*, *Even*, or *Only*," *Annual Bulletin*, vol.4, Research Institute of Logopedics and Phoniatics, University of Tokyo, 127-152.
- May, Robert (1977) *The Grammar of Quantification*, Doctoral dissertation, MIT.
- Saito, Mamoru. (1992). "Long distance scrambling in Japanese," *Journal of East Asian Linguistics* 1, 69-118.
- 田中大輝 (2003) 「日本語の量化詞のスコープ解釈について」九州大学大学院修士論文
- Ueyama, Ayumi (1998) *Two Types of Dependency*, Doctoral dissertation, University of Southern California.